

事務事業名	男女共同参画宣言都市事業		所属部局	市民部		単位番号	4007								
			所属課室	みんなでまちづくり推進課		課長名	次長 野澤 淨								
			所属担当	男女共同参画担当		担当者名	小池 宏								
基本政策	基本計画体系	I	情報と連携の都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目				
		05	男女共同参画社会づくりの推進	01	一般	0	2	0	1	0	8	0	2	0	0
07		男女共同参画社会づくりの推進	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設の維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金											
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 H18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			法令根拠	男女共同参画推進条例、南アルプス市ハーモニープラン										
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (22年度)											
	男女共同参画宣言都市になった地方公共団体が、その経験を生かしつつ、更に男女共同参画施策に取り組む上で参考とするため、都市宣言相互の情報交換と交流を図り、連携を深めるとともに、男女共同参画社会の実現に向けての気運を広く醸成することを目的に行なう。			項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)											
	本市においては、平成18年12月に男女共同参画都市を宣言し、平成19年2月に男女共同参画宣言記念式典を開催した。平成19年度から「全国男女共同参画宣言都市サミット」に参加し、情報交換と交流を図っている。			普通旅費 60											
				計 60											

1 現状把握 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	平成22年度全国男女共同参画宣言都市サミット参加 (岩手県大船渡市)
23年度活動予定	平成23年度全国男女共同参画宣言都市サミット参加予定 (開催地未定)
② 対象 (この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	
男女共同参画宣言都市及び担当職員	
③ 意図 (この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
サミットに参加することで、相互の情報交換と交流を図る。担当職員の資質向上。	
④ 上位目的 (どのような結果に結び付けるのか)	
男女共同参画の推進が円滑に行なわれ、ハーモニープランの施策に反映される。	

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア サミット参加者数	人
イ	
ウ	
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 宣言都市地方公共団体数	団体
イ ハーモニープラン推進委員数	人
ウ 事務局職員数	人
⑦ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 資質が向上した推進委員数	人
イ 参加者職員数	人
ウ	
⑧ 上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア ハーモニープラン数値目標の達成件数	件
イ	

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)	
年間 トータル コスト	事業費 内訳	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	0	60	39	39	39	39	
	事業費計 (A)		千円	0	60	39	39	39	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	0	1		1	1	1	
		延べ業務時間	時間	16	16		16	16	16	
		人件費計 (B)	千円	71	71	0	63	63	63	0
		(A)+(B)		千円	71	131	39	102	102	0
活動指標		人		0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
	アイウ									
対象指標	団体		93.0	101.0	101.0	101.0	101.0	101.0		
	人		0.0	0.0						
成果指標	人		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0		
	人			1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
上位成果指標	件		30.0	30.0	40.0					
	アイ									

(3) この事務事業を取り巻く状況 (対象者・社会状況等) の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成18年12月、市、市民及び事業者等が一体となり、男女が共に輝き、次世代を担う子どもたちが住みたいと願う、南アルプス市を実現するため宣言した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	男女共同参画という言葉、意味は理解されてきている。
③ 事務事業に対して関係者 (市民、事業対象者、議会等) からどんな意見・要望が寄せられているか?	宣言都市ということを理解している市民が少ない。もっと啓発が必要。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☐ 取り組みしている ⇒ [内容↓] ☒ 取り組みしていない ⇒ [理由↓]
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	宣言都市として全国サミットに参加しているだけのため。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	平成21年度は不参加だったが、平成22年度は参加 (岩手県大船渡市)

事務事業名	男女共同参画宣言都市事業	所属部	市民部	所属課	みんなでまちづくり推進課
-------	--------------	-----	-----	-----	--------------

2 評価 (Check1) 担当者による事後評価 (複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☒ 結びついていない (見直し余地がある) ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 結びついている ⇒ [理由↓] 年に一度、会議に参加しているだけでは結びついているとは言えない。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☒ 見直し余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 妥当である ⇒ [理由↓] 宣言都市として、市は他に出来ることがあるのではないか。
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☒ 見直し余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 適切である ⇒ [理由↓] 他の宣言都市との情報交換は必要だと考えるが、成果から考えると見直しが必要。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☒ 向上余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 向上余地がない ⇒ [理由↓] 宣言都市であることを市民に周知し、違う形で男女共同参画を進めていく。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☒ 類似事務事業がある ⇒ (類似する事務事業の名称を記入↓) ☒ 統合・連携ができる ⇒ [理由と具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒ [理由↓] ☐ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☒ 影響なし ☐ 影響あり ⇒ [理由と影響の内容↓] ☒ 休止・廃止ができる ☐ 休止・廃止できない ⇒ [理由↓]
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費 (コスト) を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 削減余地がない ⇒ [理由↓] 全国サミット不参加ならば、全事業費削減できる。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？ (事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由↓] 担当だけで業務時間内に遂行しているため。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒ [理由↓] 男女共同参画の観点から、公平、公正である。

3 評価 (Check2) 担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括 (事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	全国サミットに参加をし、その後活かされていない。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性 (Check1の結果から定める)・・・複数選択可 ☐ 廃止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☒ 事業統合・連携 (有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善 (公平性⑨の結果) ☐ 休止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上 (有効性④の結果) ☐ 現状維持 (全評価項目で適切) ☒ 必要性検討 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減 (効率性⑦、⑧の結果) (2) 改革改善案について ① 担当者だけが参加するのではなく、職員の意識改革の意味でも、全職員対象に参加する。 ② ③		(3) 改革・改善による方向性 <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☒</td><td>☐</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☒	☐		低下	☐		
		コスト水準																					
		削減	維持	増加																			
成果水準	向上	☐	☐	☐																			
	維持	☒	☐																				
	低下	☐																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ① 研修参加後、経験をどう活かしていくか。 ② より多くの人に理解してもらう必要がある。 ③		(5) 事務事業優先度評価結果 <table><tr><td>成果優先度評価結果</td><td>⑫</td></tr><tr><td>コスト削減優先度評価結果</td><td>⑥</td></tr></table>	成果優先度評価結果	⑫	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑫																						
コスト削減優先度評価結果	⑥																						